

「わたしたちの体育」を活用した実践事例
～6年生「表現運動」の学習～

南部町立会見小学校 三浦一美

1 はじめに

表現運動ほど人の心も体も解放してくれる素晴らしい時間はない。しかし、残念ながらこの領域をきちんと実施しているとは言えない状況が少なからずある。それは、他の領域と比べて、教師自身が学習のゴールイメージを持っていないからではないかと考えられる。

「わたしたちの体育」には、授業の流れや動きのイメージがイラストを交えながら分かりやすく紹介されている。さらに教師用指導書には、ウォーミングアップに使える活動や言葉かけの例も紹介されている。

今回の実践では、紹介されているイラストを効果的に使って、児童がイメージをもって動きやすい環境を作ったり、文教社発行のCDを使って雰囲気づくりも工夫したりして高学年の児童にも「表現って楽しい」と思える授業づくりに取り組んだ。

2 取り組みの実際

1学期に行った表現運動「いろいろなスポーツ」は児童はとても楽しみながら取り組んだ。そこで2学期にはこれをウォーミングアップに使ってみた。イメージしやすいようにスポーツかるたとして使った。かるたをはぐただけで視覚的にとらえることもでき、寒い日ではあったが、座り込んで相談することもなく、すぐに児童はのりのりで動き出した。



♪ハイハイダンス♪

同一呼吸・同時発声は
心も体も解放するのに
最適



♪そのまま

動きを止めずに
スポーツかるた♪
かるたを見ただけで
一体的な動きに



きっかけができればそのまま
動きも広がって



3 おわりに

体育の学習中はもちろん、普段の何気ない時間にも児童は「わたしたちの体育」を見ていることがある。「フォークダンス」をすれば嫌がる児童が多いが、フォークダンスのページを見ていた児童が「この説明じゃよく分からないからやってみよう」と言ったのには驚いた。「わたしたちの体育」や付属のCDを使って児童の心に残る表現運動をこれからもどんどん実践していきたい。♪音響効果は大きい♪

